



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	22,738	3.7	1,740	0.8	1,640	3.7	1,070	8.1
29年3月期第2四半期	21,926	2.4	1,753	25.7	1,582	25.1	989	46.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,069百万円 (9.9%) 29年3月期第2四半期 972百万円 (42.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	67.24	
29年3月期第2四半期	66.34	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	34,669	13,768	39.7
29年3月期	33,548	9,269	27.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 13,768百万円 29年3月期 9,269百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		15.00	28.00
30年3月期		15.00			
30年3月期(予想)				16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,100	6.0	4,000	8.6	3,800	8.2	2,200	11.7	133.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

なお、1株当たり当期純利益については、当第2四半期累計期間において実施した新株予約権の行使に伴う自己株式の処分(2,000,000株)を反映させた期中平均株式数をもとに算定しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	21,379,000 株	29年3月期	21,379,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	4,458,420 株	29年3月期	6,458,420 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	15,919,214 株	29年3月期2Q	14,920,580 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <経済状況>

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調が続いております。個人消費についても、緩やかな回復傾向にあるものの、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加が、可処分所得に重石となり、若年層を中心に消費性向の低下が持続しております。また、中国を始めアジア新興国等の経済及び政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があるとあり、先行きについては不透明な状況が続いております。

#### <業界動向>

フィットネス業界においては、国民一人ひとりの健康増進意識の高まりとともに、利用時間帯等の多様な顧客ニーズに対応した小型業態が積極的に導入される等、活発な動きが強まっております。

企業の従業員への健康づくりの意識は引き続き高く、働き方改革等の取り組みによって就業後の時間を活用した利用者が増加し、40歳以上の利用は増加傾向にあります。

#### <当社グループの状況>

当社グループは、「わたしたちルネサンスは『生きがい創造企業』としてお客様に健康で快適なライフスタイルを提案します。」の企業理念のもと、大型総合スポーツクラブ事業を中心に事業の成長を目指しております。

昨今は少子高齢化が進んでおりますが、当社グループでは他社に先駆けて高齢者の健康づくりに役立つ多様なサービスへ対応してまいりました。また、小規模や特化型施設の増加等、事業環境変化を踏まえ、2017年度は、2015年度を初年度とする中期経営計画の最終年度として、引き続き、以下の①～③に重点的に取り組んでおります。

- ① スポーツクラブ事業の収益性の強化
- ② 新しい成長の柱を増やす
- ③ 持続的成長を可能とするヒトと組織づくり

当社グループは、持続的な成長を目指して、積極的な設備投資を実施しておりますが、当第2四半期連結累計期間には、4月に大型複合スポーツクラブのルネサンス北千住(東京都足立区)、5月に都市型フィットネスクラブの新ブランドとなるコクールルネサンス名古屋JRゲートタワー(名古屋市中村区)をオープンいたしました。また、8月には建替え休館していたルネサンス福岡大橋(福岡市南区)が最新設備を有する地域最大規模の複合スポーツクラブとしてリニューアルオープンしました。

既存店においては、施設のリニューアルを23施設において実施しました。また、ホットスタジオを展開するための設備投資を実施し、4月よりホットヨガ等のプログラムを導入するなど、施設環境の整備と魅力向上に努めております。

新店3店舗については、会員の入会が好調に推移し、また、リニューアルを行った施設においても在籍会員数が増加し、その結果、全社の在籍会員数は416,346名と前年同期比2.0%増となりました。

この在籍会員数の増加を一因として、当第2四半期連結累計期間の売上高は227億38百万円と前年同期比3.7%増加しました。新店3店舗の開業費用の影響等により、営業利益は17億40百万円(同0.8%減)と前年同期に比べほぼ横ばいとなりましたが、経常利益は16億40百万円(同3.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億70百万円(同8.1%増)と前年同期に比べ伸長しました。

また、今後のさらなる成長の実現のため、保有する自己株式を活用した資金調達を行うことで、安定的な財務体質を構築することが重要であると判断し、6月8日に新株予約権を発行いたしました。本新株予約権は7月13日までに全て行使され、行使価額ベースで約36億31百万円の資金調達をいたしました。この新株予約権の発行により調達した資金につきましては、国内外における新規出店投資、将来のM&A・資本業務提携に対応するための資金に充当していく予定です。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### イ. 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億20百万円増加し、346億69百万円となりました。これは主に、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分に伴い現金及び預金が増加したことにより流動資産合計が10億14百万円増加したこと、新規出店に伴い有形固定資産が増加したことにより固定資産合計が1億6百万円増加したことによるものです。

#### ロ. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ33億77百万円減少し、209億円となりました。これは主に、短期借入金及び未払法人税等が減少したことにより流動負債合計が21億25百万円減少し、また、長期借入金が増加したことにより固定負債合計が12億52百万円増加したことによるものです。

#### ハ. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ44億98百万円増加し、137億68百万円となりました。これは主に、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分により資本剰余金が19億50百万円増加したことに加え、自己株式が17億2百万円減少したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益10億70百万円を計上したこと、前連結会計年度末配当金2億23百万円を支払ったことにより利益剰余金が8億46百万円増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は19億81百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 20億61百万円（前年同期 19億1百万円）

営業活動により得られた資金は、20億61百万円（前年同期比8.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益16億26百万円（同5.2%増）、減価償却費11億97百万円（同11.9%増）、法人税等の支払額6億65百万円（同4.6%増）によるものです。

### ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 19億50百万円（前年同期 17億77百万円）

投資活動に使用した資金は、19億50百万円（前年同期比9.7%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出17億73百万円（同8.8%増）によるものです。

### ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 8億45百万円（前年同期 2億71百万円）

財務活動により得られた資金は、8億45百万円（前年同期比211.8%増）となりました。これは主に、自己株式の処分による収入36億31百万円、長期借入金の返済による支出12億10百万円（同4.8%増）、短期借入金の純減少額12億円、配当金の支払額2億24百万円（同0.2%増）によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、平成29年5月11日公表の通期連結業績予想に修正はありません。

なお、1株当たり当期純利益については、当第2四半期累計期間において新株予約権の行使に伴う自己株式の処分（2,000,000株）を実施したことにより、平成30年3月期の期中平均株式数を16,418,526株として1株当たり当期純利益を133.99円と算定しております。（平成29年5月11日公表時点の期中平均株式数は、14,920,580株、1株当たり当期純利益は147.45円）

当第2四半期末配当（中間配当）は、平成29年5月11日に公表しましたとおり、1株当たり15.0円を実施いたします。また、期末配当は、1株当たり16.0円を予定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,006,627	1,960,037
売掛金	1,241,649	1,028,135
商品	187,865	248,266
その他	1,747,881	1,962,519
貸倒引当金	△8,537	△8,908
流動資産合計	4,175,486	5,190,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,861,629	8,576,683
リース資産(純額)	6,978,719	6,796,886
その他(純額)	4,509,975	3,256,991
有形固定資産合計	18,350,324	18,630,561
無形固定資産	986,661	1,004,711
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,303,384	8,460,069
その他	1,732,590	1,383,671
投資その他の資産合計	10,035,975	9,843,741
固定資産合計	29,372,960	29,479,014
資産合計	33,548,447	34,669,065
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,083	82,074
短期借入金	1,800,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,370,000	2,280,000
未払法人税等	874,460	625,431
賞与引当金	918,292	814,467
資産除去債務	21,724	—
その他	3,989,272	3,515,465
流動負債合計	10,042,832	7,917,438
固定負債		
長期借入金	5,110,000	3,990,000
リース債務	6,864,968	6,711,879
退職給付に係る負債	568,388	590,306
資産除去債務	932,981	947,775
その他	759,362	743,175
固定負債合計	14,235,700	12,983,137
負債合計	24,278,533	20,900,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	4,707,844
利益剰余金	9,799,677	10,646,249
自己株式	△5,495,999	△3,793,999
株主資本合計	9,271,031	13,770,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,782	5,582
為替換算調整勘定	7,609	5,462
退職給付に係る調整累計額	△13,509	△13,028
その他の包括利益累計額合計	△1,117	△1,983
純資産合計	9,269,913	13,768,489
負債純資産合計	33,548,447	34,669,065

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	21,926,758	22,738,606
売上原価	19,091,227	19,827,627
売上総利益	2,835,530	2,910,978
販売費及び一般管理費	1,081,879	1,170,546
営業利益	1,753,651	1,740,432
営業外収益		
受取利息	12,668	11,197
受取手数料	60,378	39,933
その他	10,176	12,812
営業外収益合計	83,223	63,943
営業外費用		
支払利息	140,514	135,300
為替差損	94,661	—
その他	19,604	28,598
営業外費用合計	254,780	163,898
経常利益	1,582,094	1,640,476
特別利益		
固定資産売却益	—	2,760
特別利益合計	—	2,760
特別損失		
固定資産除却損	12,558	16,574
減損損失	10,151	—
災害による損失	10,073	—
その他	3,677	199
特別損失合計	36,461	16,774
税金等調整前四半期純利益	1,545,632	1,626,462
法人税、住民税及び事業税	469,537	471,266
法人税等調整額	86,267	84,816
法人税等合計	555,804	556,082
四半期純利益	989,828	1,070,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	989,828	1,070,380

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	989,828	1,070,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	538	799
為替換算調整勘定	△20,155	△2,146
退職給付に係る調整額	2,620	481
その他の包括利益合計	△16,997	△865
四半期包括利益	972,831	1,069,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	972,831	1,069,514
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,545,632	1,626,462
減価償却費	1,069,517	1,197,266
減損損失	10,151	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,280	22,610
長期未払金の増減額 (△は減少)	57,875	△18,164
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40,900	△103,825
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△2,760
固定資産除却損	12,558	16,574
受取利息及び受取配当金	△12,716	△11,288
支払利息	140,514	135,300
売上債権の増減額 (△は増加)	137,388	213,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20,801	△42,323
前払費用の増減額 (△は増加)	△68,502	△90,713
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,176	12,990
未払金の増減額 (△は減少)	△259,998	△171,961
未払費用の増減額 (△は減少)	△34,703	44,412
前受金の増減額 (△は減少)	81,948	79,284
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△102,445	△124,158
その他	42,360	79,592
小計	2,678,940	2,862,813
利息及び配当金の受取額	411	246
利息の支払額	△141,299	△136,159
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△636,138	△665,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,901,913	2,061,591
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△32,500	—
有形固定資産の取得による支出	△1,630,139	△1,773,334
有形固定資産の売却による収入	—	17,000
無形固定資産の取得による支出	△88,232	△171,331
敷金及び保証金の差入による支出	△223,785	△117,065
敷金及び保証金の回収による収入	168,537	42,076
その他	29,025	52,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,777,094	△1,950,276
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	△1,200,000
長期借入れによる収入	1,300,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,155,000	△1,210,000
リース債務の返済による支出	△149,936	△173,015
新株予約権の発行による収入	—	21,220
自己株式の処分による収入	—	3,631,650
配当金の支払額	△223,876	△224,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	271,186	845,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,155	△2,146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	375,849	954,808
現金及び現金同等物の期首残高	1,023,428	1,026,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,399,277	1,981,198

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使に伴う自己株式の処分を行いました。これにより、その他資本剰余金が1,950,870千円増加し、自己株式が1,702,000千円減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金は4,707,844千円、自己株式は△3,793,999千円となっております。